

## 全学FD研修を実施しました

今年度の全学FD研修は、主に新任教員を対象とし、全2回のプログラムで実施しました。対面形式で実施し、第1回と第2回の間にはオンデマンド形式による事前学習の機会も設けました。第1回研修はオリエンテーションとし、参加者間の自己紹介や後半に実施する「授業デザイン研修ワークショップ」につながるプログラムを実施しました。第2回は、「授業デザイン研修ワークショップ」をテーマに9グループに分けてのワークショップを実施しました。「協働でシラバスづくり」では、全学初年次教養科目である「地域とエネルギー（1年生・前期）」を対象とし、講義内容や履修者数等、具体的な条件を付けてのシラバス作成に取り組みました。文理混合の各グループの教員からは、学生が「主体的かつ対話的で深い学び（アクティブラーニング）」を自然に学修できるように、座学中心ではなくロールプレイなどグループワークを盛り込むなどの工夫に富んだシラバス案が発表され、参加教員間で情報共有がなされました。また、研修終了後には情報共有懇親会を実施しました。懇親会では、多くの参加者のもとで会場内各所で懇談・談笑が飛び交うなど、大いに盛り上がりを見せました。

## 授業アンケートを実施しました

前・後期期間中に授業アンケートを行いました。「学生の授業に対する理解や関心の度合いについて問う項目」、「学生の身に付いた力や授業方法について問う項目」からなる計8項目のアンケートを実施しました。アンケートの内容と結果の詳細についてはFD活動のページより学内限定でご覧いただけます。次年度は授業アンケートの実効性の向上、アンケート結果の活用方法、アンケート回収率の向上等を引き続き検討予定です。

## 学園3大学FD・SDフォーラムを開催しました

7月26日（水）に、大阪工業大学および広島国際大学の共催で「これからの高大連携のあり方」をテーマに学園3大学FD・SDフォーラムを開催しました。大阪工業大学教務部長椋平淳教授による「高大接続の新たな動きについて」と題した講演や常翔学園中学校・高等学校 高校教頭大谷保氏、同校教育改革担当教頭池田弘氏からは、常翔学園中・高で取り組んでいる高大接続プログラムの現状などについて紹介されました。高大接続の現状や高大連携の新たな動きについて理解を深め、今後の高大接続のあり方を考える有意義な機会となりました。

## FDセミナーを開催しました

9月30日（土）に、「オンデマンドを活用した授業における工夫・実践例」をテーマにFDセミナーを開催しました。これまでにオンデマンド授業を実施してきた薬学部の倉本展行教授、基礎理工学機構の長島健教授、法学部の萩原佐織准教授による事例発表を基に、2024年度からのオンデマンド授業導入に向けて、ICTツールの活用、授業構成、学生の授業参画・評価方法等の参考となる工夫点や実践例を共有し、オンデマンド授業に関する理解を深めることができました。

## 各学部・センターの今年度のFD活動

### 理工学部

#### (1) 2023年度FD活動のミッションおよび実績

##### 【ミッション】

- ①授業改善の見える化、共有（公開）
- ②例年通り前期、後期各1ヶ月程度の授業見学強化月間、相互情報交換期間を設けて、授業改善を試みる。授業力の向上を図る。
- ③見学機会・回数の工夫（表彰委員会と連携）
- ④前年度を踏まえ授業アンケート回答率の向上策（授業アンケートの意義を学生に徹底）
- ⑤アクティブ・ラーニング、反転授業等の新たな教育方式に取り組める人材の育成
- ⑥FDフォーラムの開催（反転授業のポスターセッション開催による水平展開）

##### 【実績】

##### ■前期授業見学 2023年6月26日（月）～7月29日（土）

見学者の感想・意見は、対象の授業を行う教員に向けてではなく、自身の授業改善に関連する感想・意見となることを重視しました。授業見学の報告方法は、前年度に引き続きWeb形式とし、報告項目から教室名や入室退室時間などの項目を削除し、簡便かつスムーズに報告できる項目に変更しました。

##### ■卒業研究発表会見学

後期の授業見学を文部科学省が推奨する「教授団資質開発」として、各学科の代表的取組みである卒業研究発表会の見学に替えて実施しました。

##### ■理工学部FDフォーラム2024年3月13日（水）

#### (2) FD活動を教育改善に反映する仕組み

理工学部FD委員会では、主なFD活動として授業見学を実施し、見学した教員から授業見学で得た知見・工夫・気づきなどを報告するとともに、自身の授業に実践的に役立てて教育を改善していくという、教員自身の自主性を重んじた仕組みでした。今後は、それぞれの記録をもとに、実際にどのような改善が行われたかについて確認する、あるいは共有する機会を設ける方策について協議していきます。なお、今後の協議によって変更する可能性があります。現在、提案されている例は下記のとおりです。

- ・理工学部FDフォーラムにおいて、授業見学および卒業研究発表会見学の主な記録を共有し、組織的に「学識論」を展開し、学問の統合を探求する「教授団資質開発」の機会として意見交換の機会を設ける。
- ・2023年度の理工学部FD委員会において、2022年度後期および2023年度前期の授業見学で得たことを、どのように自身の授業改善に反映したかについてアンケートを実施する。

### 国際学部

#### (1) 2023年度FD活動のミッションおよび実績

##### ■Teams「L部遠隔授業事例紹介・情報共有」の継続的運営

コロナ禍が過ぎ投稿が各チャンネルで学期中、数件程度に減っていますが、非常勤講師からの質問に専任教員が回答し、全教員が質疑を共有できる場として継続しています。

##### ■授業公開再開の検討

今年度は実施を見送り、学部 FD フォーラムによる学部の授業実践の情報共有、授業改善への活用の取り組みに注力しました。

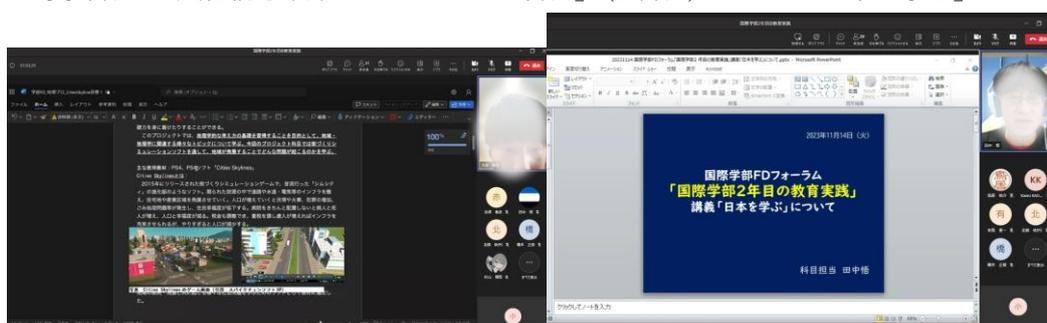
■2023 年度 第 1 回国際学部 FD フォーラム 2023 年 11 月 14 日 (火) 15:30~17:00

テーマ：「国際学部 2 年目の教育実践」

趣旨：国際学部 2 年目の前期を終えた現段階で、新たな教育実践について、対象科目の担当者からの報告をもとに意見交換を図りました。

実施形態：オンライン開催

対象科目：「文化構想領域のプロジェクト科目」(6 科目) および「日本を学ぶ」



■2023 年度 第 2 回国際学部 FD フォーラム 2024 年 2 月 21 日 (水) 教授会終了後

テーマ：「国際学部 2 年目の教育実践 (その 2)」

趣旨：国際学部 2 年目の後期を終えた段階で、後期に新規開講した科目の教育実践について、担当者からの報告をもとに意見交換を図りました。

実施形態：オンライン開催

対象科目：「地域研究プロジェクト科目」(5 科目)

(2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

- ・今年度は、国際学部で開講した授業から得られる身近な実践知を共有する場として、学部 FD フォーラムを活用しています。グループワークのための学生グループをどのような方法で組むか、想定通りに進行しない時に教員がどのように介入すべきかといった、具体的な課題と解決法を共有する場となっています。事後のアンケートから、どのような体験談や事例が各教員にとって有益なのかを把握しています。今年度のような学部内での教育実践を報告する FD フォーラムは今後も継続し、得られた知見を活用した事例も合わせて教員間で共有することで好循環を作り出したいです。
- ・全学で行う授業アンケートについても、学部教員から活用事例のアンケートをとり、事例共有を行うことを前年度から実施しています。これを改善・継続し、活用を促す好循環を作り出したいです。

## 経営学部

(1) 2023 年度 FD 活動のミッションおよび実績

■授業公開の実施 (前期・後期に各 1 回)

前期：2023 年 7 月 3 日 (月) ~ 7 月 15 日 (土)

17 名の教員が 37 科目を見学

後期：2023 年 12 月 1 日 (月) ~ 12 月 23 日 (土)

19 名の教員が 44 科目を見学

見学結果は授業参観シートとして回収し、授業担当者にフィードバックしました。

■学部 F D フォーラムの開催 (年 2 回)

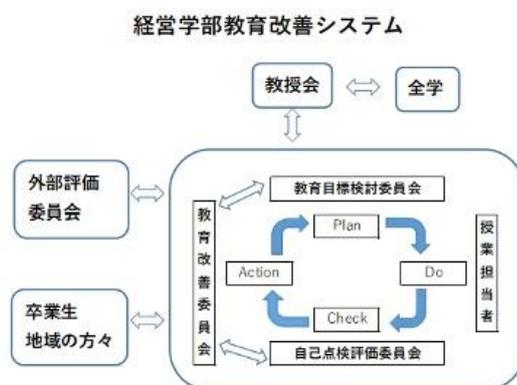
- ・第1回FDフォーラム（2023年10月31日（火）15：00～16：30）  
テーマ：新任教員の教育・研究内容について  
講演者：小林正樹先生
- ・第2回FDフォーラム（2024年2月21日（火）16：30～18：00）  
テーマ：発達障害を抱える学生への理解と配慮について  
講演者：桃山学院教育大学人間教育学部 松久眞実先生

■授業アンケートの項目検討、および活用方法

- ・質問項目Q2～Q4の内容に関する学部意見の回収と情報共有
- ・学部による授業アンケートの組織的な活用方法について計画および原案策定

(2) FD活動を教育改善に反映する仕組み

経営学部では、教育に関する自己点検および評価を定期的に行い、教育改善につなげることを目的とした経営学部教育改善システムを構築しています。具体的には、「教育目標検討委員会（Plan）」、「授業担当者（Do）」、「自己点検評価委員会（Check）」、「教育改善委員会（Action）」の4つの機関を設置し、学部FD委員会は主に教育改善委員会を担当しています。これらの4機関の活動を順次繰り返すことでPDCAサイクルを実現します。つまり、学部FD委員会が実施したFD活動（Action）の結果は、教育目標検討委員会による新たな教育改善の目標設定および計画立案（Plan）に反映されています。また、「外部評価委員会」、「卒業生・地域の方々」による第3者評価機関を設け、学部内外からの視点で教育改善に繋がる仕組み作りに取り組んでいます。



## 法学部

(1) 2023年度FD活動のミッションおよび実績

■ICTツール活用についての教員研修 2023年4月5日（水）、5月11日（木）

FD委員会メンバーが、Teams等の使用方法を新任教員に対してレクチャーし、授業のより円滑な実施につなげました。

■授業公開・見学の実施 2023年12月1日（金）～12月14日（木）

各教員一つ以上の授業を公開、一つ以上の授業を見学しました。見学した授業についてコメントを書き、それをまとめて全教員に配布しました。

■FDフォーラムの実施 2024年2月21日（水）

テーマ：「ICTツールを活用した授業（オンライン授業を中心に）」

講師：片岡雅世氏

#### ■4年生（卒業生）に対するアンケートの実施

- ・対象：公務員や旧一部上場企業への就職者が中心（20名程度）
- ・項目：進路を選択する上で役立った授業、オンライン授業のメリットやデメリットなど
- ・目的：数年間データを蓄積し、授業改善（オンラインや対面の授業を行う上での留意点の抽出等）や、カリキュラムの改編等に役立てます。FD委員会がデータを蓄積し、そのデータをもとに組織的なFD活動の実践につなげます。

#### (2) FD活動を教育改善に反映する仕組み

学部で計画した教育改善に関する活動（Plan）を、授業担当者や学部内各種委員会で実施し（Do）、学部FD委員会で言うアンケート等などの評価指標を踏まえ、必要に応じて教務委員会等の学部内委員会や外部評価委員と連携し、実施した活動の評価や改善点を検討し（Check）、改善点を抽出します。抽出した改善点を、教授会（教員全体）に報告することによって、教育の改善を図る（Action）とともに、次なる活動計画を策定（Plan）します。現在、法学部FD委員会が中心となり、このPDCAサイクルを通じて、FD活動を教育改善に反映する仕組みの強化を図っています。

## 経済学部

#### (1) 2023年度FD活動のミッションおよび実績

「学生本位の教育」を実現するため次のFD活動を実施しました。

##### ■授業見学 2023年12月～後期終了まで

期間中に開講の講義を対象に、授業見学を実施しました。授業見学後には、Formsに所見を記入しました。これは各講義の工夫や問題点について明らかにすること、そしてそれらの情報を教員間で共有することを目的としています。

##### ■経済学部学生ミーティング 2024年3月4日（月）

1年次から3年次生の学生が参加し、履修、設備（バス、駐輪場、ロッカー、食堂など）、その他について意見・要望を聞きました。これらの内容は、後述のFD勉強会でも共有・議論をする他、意見のまとめを教務課にも送付する方針です。



学生ミーティング（オンライン）のスクリーンショット（学生の氏名部分を加工しています）

##### ■授業アンケートに基づく教員表彰 2024年3月13日（水）

##### ■教員FD勉強会 2024年3月13日（水）

経済学部学生ミーティングによる学生からの意見、授業アンケート結果（特筆すべき自由意見など）、について情報共有および議論をしました。



経済学部 FD 勉強会の様子（経済学部会議室）

## (2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

2023 年度の経済学部の FD 活動は、①授業見学、②学生ミーティング、③教員 FD 勉強会で構成しています。以下、これらの FD 活動がどのように教育改善につながるかが期待されるかについて説明致します。

まず、①の授業見学は、講義担当者・受講者以外の、第三者による意見を聞くことができる機会です。実際に講義を担当している教員による所見なので、現実的な提案が期待できます。そのため、授業方法やスキル改善の持続的活動につながると考えています。②の学生ミーティングは、履修上の問題や学生の利用する設備の不備など、教職員からでは気づきにくい点を学生から聞くことができる貴重な機会となっています。③の教員 FD 勉強会は、これら FD 活動から得られた情報の他、教員アンケートの自由記述欄にある特筆すべき意見についても共有し、さらに対応策などを議論し、教育改善につなげています。

これらの活動は上記のような目的があり、これらはいずれも、「学生本位の教育」の実現に貢献するものと期待しています。

## 薬学部

### (1) 2023 年度 FD 活動のミッションおよび実績

教員の自主的な授業改善のため、これまでから「薬学部 FD ワークショップ」や「授業見学」などを実施してきました。2023 年度は次のとおり実施しました。

#### ■「薬学部 FD・SD フォーラム」 2023 年 4 月 4 日(火)および 2023 年 9 月 7 日(木)

教育力の向上と円滑な教育体制下での学部運営の実施を目的として全教員および事務職員を対象に FD・SD フォーラムを開催しました。

#### ■授業見学

全期間を通じて、授業見学を促し、報告書のまとめを 9 月の薬学部 FD・SD フォーラム内で配布・教員間の情報共有を促しました。(後期分は来年 4 月の薬学部 FD・SD フォーラム内で実施予定)

#### ■「薬学部 FD ワークショップ」 2023 年 9 月 16 日(土)

薬学部では、来年度から改訂された「薬学モデルコアカリキュラム」に即した新カリキュラムで教育が行われることになっており、その中でキモとなる評価方法について、教員間で議論しました。

## (2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

昨年の薬学部 FD 委員会での協議事項に基づき、授業見学の報告書を一覧表にして薬学部全教員に配布するとともに、4 月および 9 月の「薬学部 FD・SD フォーラム」で授業改善に特に参考になる点などを継続的に紹介しました。「新カリキュラム」では、一つの講義を複数の教員が担当するオムニバス形式が取り入れられますが、これまでの授業見学や学生による授業アンケートの結果などを参考にし、教員間のより密な連携が行われるようにしています。

## 看護学部

### (1) 2023 年度 FD 活動のミッションおよび実績

#### 【ミッション】

- ①教員活動の公開・評価の実施と教育内容及び方法の改善
- ②授業・実習アンケートの実施
- ③授業改善のための研修会の実施
- ④全学委員会及び各学部委員会や外部機関との連携
- ⑤教員の研究活動の活性化

#### 【実績】

■授業公開・見学：今年度中に最低 1 回の授業見学を呼びかけ。

#### ■学部 FD 研修会

##### 1. 2023 年 8 月 7 日（月）

「看護学部におけるアカデミックハラスメント、パワーハラスメント」をテーマに開催し、29 名が参加しました。事後アンケートは 97%が「満足」と回答しました。



##### 2. 2024 年 3 月 18 日（月）

「系統的レビューやスコーピングレビューを用いた科研資料の作成方法について」をテーマに開催しました。

##### 3. 2024 年 4 月

全体会にて、学生委員会と連携し、「学生対応における課題の共有とあり方について学ぶ」をテーマに開催する予定です。

#### ■授業アンケート回答促進、教員のコメント率向上の取り組み

学生の回答を促す為、各教員にリンクの QR コードを配付し、授業内で活用するよう周知しました。またコメントを教員に呼びかけ、前期のコメント率が 49.1%と昨年度より向上しました。

#### ■学部独自の实習アンケートの実施

実習科目全てを対象にアンケートを実施しました。結果は教員間で共有し、学生へフィードバックしました。また、結果を踏まえ教員表彰を実施します。今年度は質問項目の点検も行いました。

### (2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

看護学部では、以下に示す仕組みにより FD 活動を教育改善に反映する仕組みを構築しています。青枠内が学部での活動で、学部 FD 委員会での計画事項（Plan）を、授業や実習担当者が実践し（Do）、その内容について FD 委員会でアンケート結果等を提供し、それらを踏まえて、カリキュラム検討委員会・教務委員会・実習委員会にて確認・評価、改善点を検討し（Check）、改善に向けての実践を各委員会・教員が考え改善に取り組みます。その活動の評価は、学部評価機関のみならず、卒業生や実習施設へのアンケートや地域の人々や様々な組織機関の声を通して、第三者の評価として、さらなる教育改善の参考にします。それらを踏まえ、次なる F D 委員会の活動を計画します(Plan)。このような PDCA サイクルを通して、看護学部では FD 活動を教育改善に反映する仕組みを構築しています。

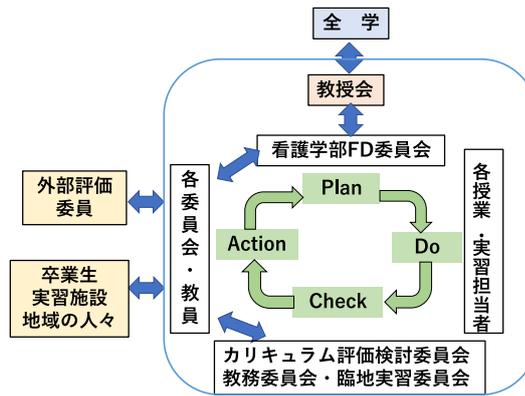


図. 看護学部のFD活動を教育改善に反映する仕組み・構築

## 農学部

### (1) 2023年度FD活動のミッションおよび実績

#### ■授業アンケートの取り組み

- 1) アンケートの趣旨説明とアンケートに回答する時間を講義中に確保することを教員に依頼しました。これは昨年度と同じ取り組みとなります。
- 2) 授業アンケートの回答項目を利用して、改善が顕著であった講義担当の教員の表彰に取り組んでいます。
- 3) 他学部では授業参観を再開する動きが出ているので、来年度は農学部も授業参観に取り組めます。

### (2) FD活動を教育改善に反映する仕組み

農学部各種委員会で企画・立案・検討した事項を、教授会等で承認したのち、全教員・構成員で実行し、実行した取り組みを、自己点検評価委員会や外部評価委員会で評価・検証することとしています。ただし、今年度はFD委員会で実質的な検討はできず昨年度と同様にアンケート回収率向上のための企画をFD委員会より全教員に依頼して実行してもらった形となりました。また、アンケート回収率が低い講義、履修者が少ない講義については、アンケート結果を教員評価の参考にはしない、といたしました。

## 現代社会学部

### (1) 2023年度FD活動のミッションおよび実績

#### ■授業アンケートに基づく教員表彰

授業アンケートで評価が高かった教員2名を表彰し、適切な時期にその先生から授業の工夫やこれまでの改善などを聞き、各教員が勉強する機会を設けました。

#### ■教員懇談会 前期2回(4月25日、8月1日)、後期3回(11月7日、12月26日、1月18日)

授業や学生指導について意見交換し、学部教育の充実向上を図りました。

#### ■FAL委員会

本学部教員全員が参加し担当する科目としてFAL(フィールド型—アクティブ・ラーニング)があります。この科目は従来の社会学関連科目にはなかった本学部独自かつ初めての試みであり、この科目をより円滑かつ実効的に進めていくためにFAL委員会を設置しています。前期(FAL入門、FAL演習(通年科目))、後期(FAL実践)という授業を遂行する上での様々な問題を議論・検討し、改善策を検討しています。

#### ■その他

FAL 関連科目以外に「現代社会の諸問題」や「現代社会学入門」は教員全員が担当するオムニバス科目であり、授業の進め方や内容など含め適宜、会合を開きました。

## (2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

- ①授業アンケートによる教員表彰に関しては、次年度以降をめざし、表彰された教員の授業の工夫点などを学部教員全員が共有できる仕組みを考え、実践していく予定です。
- ②次年度より導入する Live! アンケート（リアルタイムの WEB アンケートシステム）の活用を進めます。まずは複数の教員がこのソフトを活用し、その効果や問題点などを検討します。その結果を適切な時期に教員から聞き共有する機会を設けることで、より有機的な授業改善の仕方を学部で共有していきます。
- ③FAL 委員会や教員懇談会は授業運営や学生教育などで個別教員が感じた問題点を教員同士で話し合い、それを共有する空間です。率直な議論を重ね、よりよい解決策や授業運営や学生教育の手法などを模索しています。各教員はここで得られた知見をもとに授業改善をめざしています。本学部では、こうした教員相互の議論空間を次年度以降も実践していく予定です。



\*この写真は、FAL 演習の中間報告会（11月3日開催）の様子です。学生がそれぞれ担当しているプロジェクトの報告をし、それらを学生と教員が聞き、自由に議論しあう場となっています。教室という制限された空間から解放され、より自由な議論そしてコミュニケーション実践の可能性がこうした仕組みから実現可能となります。

## 全学教育機構

### (1) 2023 年度 FD 活動のミッションおよび実績

#### 全学教育機構

##### ■授業見学の実施（前期・後期に各1回）

前期：2023年7月10日（月）～7月27日（木）

37名の教員が25科目を見学

後期：2023年11月6日（月）～11月27日（月）

29名の教員が14科目を見学

見学結果は Forms で授業見学報告書として回収し、授業担当者にフィードバックしました。

#### 教職支援センター

##### ■学生によるアンケートの実施

各学部と同様に、第14、15回の授業時間を活用して学生アンケートを実施しました。また、得られたデータを参考に授業改善に活かせるよう分析を進めました。

##### ■授業公開と授業見学

センター教員内で、授業公開と授業見学を実施しました。特に、今年度は新しく2名の教員が着任しました。そのため授業公開では、センター主任を中心に授業を参観し、授業後に指導を仰ぐことができました。今後も相互に授業公開・見学を行い、意見交流を深めていきます。

#### グローバル教育センター

##### ■グローバルFD・SDフォーラム 2024年2月2日（金）14:30～16:30

テーマ：「大学の国際化およびグローバル人材の育成支援—COILとVE—」

目的：COIL（Collaborative Online International Learning）・VE（Virtual Exchange）をテーマとして取り上げ、パンデミック後の国際教育としての COIL・VE の仕組みとその紹介、パンデミック後に本学で行った COIL 活動の紹介を行いました。

実施形態：オンライン開催

講演者：関西大学国際部 教授 池田 佳子 氏

摂南大学グローバル教育センター 講師 カーティス・チュウ 氏

参加者：36名

アンケート回答者のうち半数を超える教員から、自身の担当科目への COIL の導入を「検討したい」との回答があった。主な参加者の声としては、「今後の社会では、全学生がグローバル教育に触れる必要がある。経済的な問題や健康上の理由で海外に渡航できない学生にとって COIL は大変有効な手段になると確信した」「オンライン教育の広がりの良いところが本学でも失われないようにしないといけない」「摂南大学での取り組みが社会や世界に広がることで、魅力ある大学として認識されていくと感じた」などがあった。

## (2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

### 全学教育機構

#### ■授業見学のフィードバック

見学した教員から、授業の感想や見学した授業の改善に参考となる意見を授業見学報告書として Forms により収集しました。また、今後の担当授業の内容・方法を改善し向上させるための参考とすることを目的に、見学のあった授業の授業見学報告書を個別に授業担当者へ共有しました。

### 教職支援センター

#### ■学生アンケートの結果をふまえて

センター教員を対象にアンケートを実施しました。その結果、多数の先生方がアンケートを実施しており、授業改善に努めることができました。また、次年度は、全 15 回の講義のうち、第 7、8 回目に中間アンケートを実施し、授業が終わるまでに改善を行い、学生満足度を高める仕組みも検討中です。

#### ■全学 FD 研修（新任研修）について

全学 FD 研修で用いられる授業デザインワークショップ動画について、改善の余地があったため、全学教育機構長・副機構長とセンター教員 2 名とラーニングセンター教員 1 名で内容検証と編集を行っています。研修での学びがより深まるような動画にしたいと考えています。

#### ■教職系サークル“教育 Lab”について

教職を志す仲間が集う教職系サークル“教育 Lab”を立ち上げました。昨年度までの教員採用試験対策を踏襲した形で、教職員と学生が一致団結して合格を目指すサークルです。本学 FD 活動は、「教育の理念」の実現に向け、教育改善に取り組む活動であることから、学生のニーズを把握し、適切に支援・援助することを念頭に、ともに学びともに育つスタンスを大切にしたいです。そのためにも、教職員と学生が連携し、授業の枠組みを超えた教育活動へ反映していきたいです。



\*教育 Lab（学生ミーティング・松浦正典先生登壇）

## スポーツ振興センター

### (1) 2023 年度 FD 活動のミッションおよび実績

#### 【ミッション】

- ・「教育の理念」の実現を目指すため、スポーツの様々な教育効果を活用した教育手法を開発、実施する。
- ・ DP、CP に則ったカリキュラムや授業方法の開発・改善・支援

#### 【実績】

- 専任教員、非常勤講師による合同研修会を開催 2023 年 3 月 16 日（木）
- 学生部とスポーツ振興センターが共同で特別講演会を開催 2023 年 4 月 8 日（土）
- 寝屋川市北幼稚園との国際交流会を開催（ラグビー部） 2023 年 7 月 5 日（水）
- 摂南大学かけっこチャレンジを開催（陸上部） 2023 年 9 月 23 日（土）
- 柔道交流会を開催（柔道部） 定期開催
- 授業の振り返り 2023 年 12 月 22 日（金）
- スポーツ振興センターによる学生授業アンケートを実施



\*9月23日 摂南大学かけっこチャレンジ

### (2) FD 活動を教育改善に反映する仕組み

- ・専任教員、非常勤講師による合同研修会の実施
- ・スポーツ振興センターによる学生授業アンケートの実施と活用
- ・教育に関する方針を確認するために毎月第3木曜日に「スポーツ振興センター運営委員会」、同火曜日に「スポーツ振興センター教室会議」を定例で開催。主に大学・大学院運営会議、教務委員会、FD 委員会、学生委員会からの報告事項を共有し、必要に応じて授業計画や授業方法の改善に反映させています。
- ・課外活動団体によるスポーツを通じたプロジェクト型実践学習イベントの企画、開催とフィードバック
- ・その他、必要に応じて授業手法の勉強会を開催

## 摂南大学 WEB サイト FD 活動報告ページに詳細を掲載

FD ニュースでは、年度内の活動を紹介しています。

詳細はホームページ内の FD 活動のページをご覧ください。

摂南大学 Web サイトトップから、「教育・研究」>「教育システム」>「FD 活動」とお進みいただき、各活動の詳細をご覧ください。